

情報化時代への対応

加 藤 等

昭和57年4月はからずも図書館長に任命され、それこそ全くの門外漢の身ながらこれをお引き受けして早や一年近くの年月がたって来ました。幸い前館長佐藤隆昭先生の時代に図書館長選任規程、図書委員会規程が整備され、図書委員会運営のもとに円滑な図書館業務が可能になった状況の中に置かれまして、どうにか新米館長の職を周囲の御迷惑を顧ることなく微力ながら果しつつあります。この間、図書委員の先生方の多大な御協力並びに館側事務について図書館事務長清原真玄氏、更に福井司郎、平田伸夫両氏のもとに図書館事務職員諸氏の御尽力に厚く感謝致して居ります。

大学における図書館の果たす役割りは、研究教育の充実の上に多大なものがあります。その中にありまして、現在、図書館そのものの要求される機能が時代に従って大きく変貌を遂げつつある時期ではないかと考えられます。かつての様に、単に膨大な蔵書量のみに依存してその存在を誇示して居るだけでは許されなくなってまいりました。一面、社会の情報量は日増しに勢いで増大してまいります。これを如何に円滑・迅速に利用者に提供し得るかと言う事が図書館業務の最大の課題になってまいります。他面、情報処理の機械化も年ごとにその成果を著しく増しつつあります。既に慶応義塾大学ほかいくつかの図書館においてコンピューター・システムの導入により、あらゆる面において多大な好結果をもたらしていることは報告されて居ります。これらを総合しますと、今後、図書館運営はその利用度において、そうとう急速にコンピューター・システムによる機械化の方向を重視せざるを得ない状況におかれていると考えられます。

また如何に図書館が機械化されたからと云っても、それを運営する基本には図書館職員個々の力を必要とします。その点からしましても図書館員

の質的な向上も重要な課題の一つと云えます。幸い本紀要にも見られる通り、現在、館職員も各自のテーマを持ちながら研究の目標を定め、一層勉強に尽くして居ります。これらの成果が積み重ねられ努力することによって図書館員としての自覚・向上が大いに期待される所であると考えて居ります。

更に、今後の図書館のあり方として図書館相互の一層の協力が欠く事の出来ない重要な要素となってまいります。一図書館の機能が近隣或いは全国的なネット・ワークの中に組み入れられることによって、必要な情報は随時迅速に利用し得る機構が必要とされます。これら幾多の課題を出来る限り短時日の中に解決しながらも図書館の充実を今後一層考えなければならぬ時期に達して居ります。

本図書館も、去年は「世界こども絵本展」を開催いたしました所、多数の参観者を得ることが出来ました。図書館利用の一助と致しまして、これからは独自の企画を持った行事を更に積極的に立案し、親しまれる図書館としての機能も発揮して行きたいと考えて居ります。また、本年度は念願の一部書庫拡張の工事も完了し、さらに59年度に残余の書庫拡張工事を以って幾分なりとも書庫に余裕の出来る状況に落ち着けることと思います。しかし、その間、利用されるかたがたには多大の御不便を来たしかねない部分も出て来ることになりはしないかと懸念致して居ります。整備途中の御迷惑について宜しく御寛恕お願い致したいと思ひます。

図書館の充実は大学の研究・教育面における充実と密接な関係を持つものであります。たまたま今年は世界コミュニケーション年でもあります。図書館充実に一層努力を尽くしたいと思ひますので各方面からの御協力を宜しくお願い致したいと思ひます。